

日本顕微鏡歯科学会 第19回学術大会・総会

大会長 高橋慶壮

副大会長 中村慎介

実行委員長 山田嘉重

はじめに

令和5年4月21日(金)から24日(日)の3日間にわたり、ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)において、日本顕微鏡歯科学会第19回学術大会・総会が開催されました。大会のテーマは「口腔疾患に対する顕微鏡下の精密歯科治療」(Precision Treatment of Oral Diseases under Microscopy)(図1)で大会長の高橋慶壮(奥羽大学歯学部歯科保存学講座)(Ohu University School of Dentistry, Department of Conservative Dentistry)のもと、コロナ禍の収束を見据えて現地会場とWebオンデマンド配信のハイブリッド開催でした。

正会員466名、準会員188名、非会員83名、学生70名の合計807名と多くのご参加をいただき、懇親会やランチョンセミナーなどを含め大きなトラブルもなく、盛会裡に終了することができました(図2)。関係各位の温かいご協力、ご支援の賜と厚く感謝申し上げます。

1日目

学会会場のビッグパレットふくしま3階中会議室において、認定審査副委員長の三橋純先生の指揮で、対面での認定医・認定衛生士筆記試験と口頭試問を実施しました。認定医試験は19名が受験して17名が合格、認定衛生士試験は22名が受験して20名合格となりました。

2日目

学会本大会の開始となります。まず実行委員長の山田嘉重先生(奥羽大学歯学部歯科保存学講座)(図3)、学会長の三橋晃先生(鎌倉デンタルクリニック)(図4)の開会挨拶に続き、大会長の高橋慶壮の基調講演「顕微鏡を活用した精密歯科治療」から始まりました(図5~7)。基調講演では、演者の歯内療法、歯周治療およびインプラント治療の概略とマイクロスコープを使用することで新たな概念や治療法が創造される可能性および医療コストについて解説いたしました。

特別講演1

座長は高橋慶壮先生と馬場優先生(図8)です。

大阪公立大学院医学研究科 整形外科の岡田充弘先生に「Microsurgery - 再建外科の視点からの顕微鏡手術 -」 (Microsurgery from the Perspective of Reconstructive Surgery) の演題で、「手の外科」専門医の行っている再建外科療法の実際についてご講演頂きました(図 9~11)。医科におけるマイクロサージェリーの概説に加えて、3D モニター上の画像を見ながら Microsurgery を行う 3D monitor assisted microsurgery を可能にするデジタル顕微鏡が開発されていること、整形外科領域における血管および神経縫合の解説、さらに 12-0 の糸付き針を使用する血管および神経縫合の動画を紹介して頂きました。質疑応答では、三橋純先生からカールツァイス社製顕微鏡について追加説明がありました。(図 14, 15)

教育講演 1

座長は辻本恭久先生と小林 平先生先生(図 16) です。

神奈川歯科大学の石井信之先生に「歯内療法難症例に対する顕微鏡歯科治療アプローチ」 (Operative Microscopic treatment approach for accidental cases of endodontic therapy) の演題で、歯内療法の成功率、根管治療が奏功しない歯根破折の診断、マイクロスコープの画像を用いた説明、MTA の有用性、マイクロスコープと接着技法を駆使したhopeless teeth の保存治療の高い成功率について解説して頂きました(図 17-20)。

ランチョンセミナー

3階の中会議室で、名南歯科貿易(株)・タカラベルモント(株)共催で、北村和夫先生によるセミナー「モーターライズド マイクロスコープの有用性」(図21, 22)と株式会社モリタ/マニー株式会社協賛で、辻本恭久先生のセミナー「マイクロ拡大視野下で行う根管治療と NiTi ロータリーファイルの活かし方 - NiTi ロータリーファイルで対応できないケースとその対処方法について -」が開催されました。(図23, 24)

一般口演 OP1-6

午後からの一般口演の座長は武市 収先生(図 25) です。安定感のある進行によりスムーズにかつ学術的な口演が始まりました。

遠藤広規先生の「モーターライズドマイクロと動画システムがもたらした恩恵」 (Benefits brought by motorized micro and

video systems) (図 26) , 木南意澄先生による「ダイレクトボンディングをダイレクトビュー&Horizontal Slot Technique
で行う優位性」 (Advantages of Direct Bonding with Direct Views & Horizontal Slot Technique) (図 27) , 松田敦至先生「手術用顕微鏡を用いたスカウティングファイルとグライドパス」 (Scouting & Glidepath using operative microscope) の口演が行われました(図 28) 。会場からは活発な質問がなされました(図 29-31) 。

休憩をはさみ、吉田 格先生に座長を交代し(図 32) , 内藤広太郎先生の「日本顕微鏡歯科学会認定指導医・認定医におけるマイクロスコープに関する調査 -2022 年アンケート調査 -」 (A survey on microscopes among Board Certified Instructor and Board Certified Member of the Japan Association of Microscopic Dentistry -2022-) (図 33) , 市田佳子先生の「水酸化カルシウム製剤が根尖孔より下顎管へ溢出した一症例」 (A case that calcium hydroxide medication was extruded from the apical foramen into the mandibular canal) (図 34, 35) および郭 博仁先生 (台湾) の「Periodontal Microsurgery for Root Coverage and Interdental Tissue Reconstruction」 3 口演がそれぞれ行われました (図 36, 37) 。質疑応答後(図 38) に演者にサーティフィケートが授与されました(図 39) 。

業者出展

毎年多くの業者のご協力をいただきありがとうございます。今大会では、久しぶりの対面での現地開催ということもあり、ご参加いただけるか心配でしたが、30 社の出展をいただき参会者にとっても有益な情報が得られる機会になったと思います (図 40~43)。

一階総合受付は各会場へのアクセスを考慮し、施設の中央に設置しました (図 44~48) 。また、企業様より祝電や献花を頂戴いたしました (図 49) 。

シンポジウム 1

座長は山田嘉重先生および三橋 晃先生 (図50) です。「マイクロスコープを利用した精密歯科医療の現状と展望」というテーマで3名の先生方に御登壇頂きました。

小原俊彦先生の講演から始まりました。『マイクロスコープによる精密診療を取り巻く背景 医療保険の中でのマイクロスコープ、その役割と未来』 (Background Surrounding Precision Medical Treatment using Microscope Microscope in Medical Insurance, Its Role and

Future) という演題で、顕微鏡を用いた歯科医療の実際と将来展望を解説して頂きました(図51)。保険医療とマイクロスコープを使用した歯科医療の今後について幅広い見地から示唆に富むお話をなさいました。また、口演の途中に映像が一時乱れましたが、先生のセンスの良いユーモアで場が和みました。

鈴川雅彦先生は『マイクロスコープを用いた歯周治療～歯根表面に着目して』(Microscope-enhanced periodontal treatment: Focusing on the root surface) という演題で、汚染された根面のデブライドメントについて拡大視野で観察した際の変化、さらに、感染に対する宿主応答の特徴および歯周組織再生療法の将来展望について講演を頂きました(図52)。

河合竜志先生には『DHが考えるべきマイクロスコープを用いたカリエス、ペリオの予防計画』(Dental hygienist should think about caries and perio prevention plan using microscope) という演題で自医院の診療を紹介しながら、歯科衛生士がマイクロスコープを使用した臨床を行う利点を解説して頂きました(図53)。3名の先生方の講演後に質疑応答が行われ、会場から興味深い質問がありました(図54～57)。

JAMD招待演者口演

座長は三橋 純 先生(図58)です。

AMED (The Academy of Microscope Enhanced Dentistry) 会長のDr. Randy Shoup先生がご登壇し、「Restoration of the Endodontically Treated Tooth with a combination of Ultra High Molecular Weight Polyethylene Fibers and Short Glass Microfiber Infused Composite」の演題で講演をなさいました(図59～62)。

ポスター発表 討論

ポスターは9演題が発表され、展示会場Aにおいて、活発な討論が行われました(図63～68)。一般口演ならびにポスター発表についての詳細は、以下のアドレスよりプログラムおよび抄録をご確認ください。

https://www.kenbikyoshika.jp/congress/19th_fukushima/pdf_syoroku/syorkusyu03.pdf

懇親会

学会会場のビッグパレットふくしまから懇親会会場のビューホテルアネックスまでシャトルバスで移動して頂き、250名の参加者で大いに盛り上がりまし

た。参加者はマスクを外し、大いに飲み、語らい、アトラクションおよび食事を楽しみました。会員のパッションを強く印象付けた懇親会であったと思います（図69～80）。

3日目

第18回大会の大会長受賞記念講演 座長は小林 平 先生（図81）です。

大河原純也先生（茨城県開業）の講演「デジタル顕微鏡を使った歯科用遠隔手術支援システムの開発」(Development of Remote Surgery Support System by Using Digital Microscope for Dentistry) から始まりました（図82～84）。歯科用遠隔手術支援ということで、世界中の専門医と連携して顕微鏡下の診療を行う様子が紹介されました。

一般口演OP7-9

座長は澤田則宏先生（図85）です。

椋由理子先生による「確実な接着操作のために～マイクロスコープをコンポジットレジン修復に活かす～」(For Reliable Bonding Operation～Microscopes for Composite Resin Restorations)（図86），吉成宏陽先生による「侵襲性歯頸部吸収 に対して非外科的歯内治療をおこなった一例」(A case of nonsurgical endodontic treatment of invasive cervical resorption tooth)（図87），

李 麗先生(Dr. Li li)（中国）による「マイクロスコープ使用時のMB2根管開口部の位置に関する 臨床的考察」(Clinical Considerations Regarding the Positioning of The MB2 Root Canal Orifice When Using A Microscope)（図88）の口演が行われました。日本語を話せる方が質疑応答時にサポートなさいました（図89）。口演後に澤田先生よりサーティフィケートが授与されました（図90）。

12演題のなかで投票によって大会長賞を受賞したのは、市田先生でした（図34, 35）。不適切な根管貼薬による偶発症は未だに生じていますが、長期的には異所性の石灰化を引き起こしかねないリスクを含むことが報告されました。

特別講演 2

座長は北村和夫と木村裕一先生（図91）です。

渡邊達夫先生（(株) Office HAT 代表 岡山大学名誉教授）（図92）から

「つまようじ法の科学」(Tooth-pick method based on science)の演題で講演を頂きました（図93, 94）。渡邊先生のライフワークでも

ある「つまようじ法」の臨床的効果を長年にわたり行われた基礎的および臨床的研究に基づいて発表なさいました。また、「科学」とは何かについて持論を展開され、科学哲学的な示唆に富む内容で、まさにオンリーワンのお仕事だと思えます。

教育講演 2

座長は辻本恭久先生と小林 平 先生 (図95) です。
菅原佳広先生 『クラウン修復における初心者のためのマイクロスコープ活用法』 (How to use the microscope for beginners in crown restoration) で、マイクロスコープを用いた精密歯冠形成のポイントを詳細に解説して頂きました (図96~98)。マイクロを覗く際の左右の視野による違いも詳細に解説されました。

歯科衛生士シンポジウム

「~精密歯科治療における歯科衛生士の役割~」のテーマで3階の中会議室で行われました。座長は、櫻井善明先生と林 智恵子先生 (図99) です。

溝部潤子先生からは『歯科衛生士の臨床を豊にするために~Dental Hygiene Process of Care の観点より~』 (“Enrich the clinical practice of dental hygienists ~From the perspective of Dental Hygiene Process of Care~) という演題で、歯科衛生士のマネージメントスキルを有効に行う知識基盤で、米国で理論構築された歯科衛生士ケアプロセス (Dental Hygiene process of Care) のお話を頂きました (図100)。森田佳子先生からは、『マイクロスコープを使うDHが考えるべき3つの課題』 (Three Issues Dental Hygienist Should Consider When Using a Microscope) という演題で、歯科衛生士がマイクロスコープを臨床に応用する際に直面する3課題について解説して頂きました (図101)

清水直美先生からは、『歯科衛生士によるマイクロスコープの応用とマイクロリトラクションを用いた歯周治療について』 (How Dental Hygienists apply Micro Retraction Technique with Microscope) という演題で、ご自身が考案して実践なさっているマイクロリトラクション法の術式と利点について解説して頂きました (図102)。3名の演者の講演後、質疑応答が行われ、活発な意見交換がなされました (図103~110)。

ランチョンセミナー

2日目はカールツァイスメディテック株式会社の協賛で、三橋 純先生のセミナー「脳外科用顕微鏡 ハイエンドモデルに見るマイクロサージェリーの現在と将来」を提供できました(図111~115)。脳外科医が使用している次世代型の顕微鏡を会場に設置し、実際に使用したデモが行われました。

大会期間中に3つのランチョンセミナーを開催いたしました。どのセミナー会場も大盛況でした。

ブックフェア

本学会に所属されている先生方は、ご自身の著書や共著を執筆していらっしゃる方が多いこともあり、今回もブックフェアの時間を設けました(図116~138)。メイン会場前のフロアでそれぞれの著書について順々に一言ずつコメントをいただきました。研究では論文が、臨床では症例報告や書籍が次世代へ遺す財産になります。また、臨床家として、臨床経験(実践知)を言語化して書籍(科学知)に転換することを通じて、臨床判断やスキルが向上し、新しい概念や治療法が開発・改良されていくと考えています。

シンポジウム2 テーマ「~顕微鏡を用いた精密な歯周治療~」

座長は鈴木真名先生と三橋 純 先生(図139)です。長尾大輔先生は『歯科用顕微鏡を用いる超低侵襲の歯周外科：MIPS ~ 真実に向き合うとSimple is Best! ~』(The ultimate minimally invasive periodontal surgery using a Dental Microscope: MIPS ~Facing the facts Simple is Best! ~)という演題で講演なさいました。根管からのアプローチで行う歯根端切除術と切開や歯肉剥離せずに行う根面のデブライドメントを自著の内容を紹介しつつ、症例の画像と動画を紹介しました(図140, 141)。治癒が早く、予後が良好であることが示され、顕微鏡を活用した超低侵襲性歯周外科治療の可能性を感じさせる講演でした。

中田光太郎先生は「マイクロサージェリーが誘う根面被覆術」(Root coverage procedures with microsurgery)という演題で講演なさいました。顕微鏡を活用した根面被覆において、ご自身が分担執筆なさいました著書を紹介しつつ、術者の器具を把持する指の位置や意義を解説し、実際の臨床例を提示しました(図142, 143)。口演後に総合討論が行われました(図144~146)。

一般口演 OP10-12

座長は寺内吉継先生 (図 147) です。

井出 葵先生による「上顎第一大臼歯の髓室開拓において致命的な偶発症をもたらす 2 次元ユークリッド空間の検証」(Validation of misrecognition at access cavity preparation) の口演が行われました (図148, 149)。会場から質問と提案があり, 学会で髓室開拓のデータを集積してはどうかと提案されました (図 150, 151)。藤野拓郎先生は「拡大視野下で歯周ポケット診査中に皮下気腫を引き起こした 1 症例」(A case of subcutaneous emphysema during periodontal pocket examination under magnified view) の演題で, マイクロスコープ使用時に起こり得る偶発症の例として歯周ポケットにエアーをかけた際に生じた皮下気腫の症例報告をなさいました。ペーパーポイントやマイクロバキュームの使用が推奨されるとのことでした (図 152~154)。宇土武典先生からは「マイクロスコープを使用し修復した一症例」(A case of restoration using a microscope) の演題で, マイクロスコープを利用した精密修復治療の症例が提示されました (図 155, 156)。口演後に寺内吉継先生からサーティフィケートが授与された (図 157~159)。

一般口演終了後にスクリーンに QR コードが映し出され, Google form を利用して代議員による電子投票が行われた。その結果, 大会長賞に市田佳子先生, ポスター発表優秀賞に辻本真規先生が選出された。

総会・表彰式・閉会式

総会が開催され, 理事会による学会の運営状況の説明後に質疑応答がなされた (図 160~163)。来年, 東京で開催予定の第 20 回大会大会長の寺本吉継先生 ((CT&米国式根管治療センター) から大会の概略が説明された (図 164)。大会長の高橋慶壮先生より大会長賞およびポスター発表優秀賞の授与が行われ, 閉会となった (図 165~167)。

一般社団法人
日本顕微鏡歯科学会
第19回学術大会・総会

JAMD

テーマ
口腔疾患に対する顕微鏡下の精密治療
 — Precision Treatment of Oral Diseases under Microscopy —

会期
2023年
4月21日(金)・22日(土)・23日(日)

会場
ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
 開催方法/ハイブリッド開催(現地開催+オンデマンド配信)

大会長
高橋 慶壮
 (奥羽大学歯学部歯科保存学講座教授)

副大会長
中村 慎介
 (中村歯科医院/福島県)

実行委員長
山田 嘉重
 (奥羽大学歯学部歯科保存学講座教授)

学術大会プログラム

大会長基調講演
 特別講演
岡田 充弘 先生
 (大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学 准教授)
渡邊 達夫 先生
 (NEOffice HAT代表、岡山大学名誉教授)

教育講演
石井 信之 先生
 (神奈川歯科大学教授)
菅原 佳広 先生
 (月湯歯科クリニック/新潟県)

シンポジウムⅠ
 (マイクロスコープを利用した精密歯科医療の現状と展望)
小原 俊彦 先生 (おぼら歯科クリニック/茨城県)
鈴木 雅彦 先生 (AICデンタルクリニック/広島県)
河合 竜志 先生 (けやき歯科クリニック/茨城県)

シンポジウムⅡ
 (マイクロスコープを用いた精密な歯周治療)
中田 光太郎 先生 ((医)清倉会 中田歯科クリニック/京都府)
長尾 大輔 先生 (長尾歯科/茨城県)

歯科衛生士シンポジウム
 (精密歯科医療における歯科衛生士の貢献)
清部 潤子 先生 (医療法人社団 清部会、元神戸常盤大学教授)
森田 桂子 先生 (社本デンタルオフィス/福島県)
清水 直美 先生 (マイクロベックスハイジェニックスラボラトリー)

一般演題(口頭発表、ポスター発表)
第18回大会長賞受賞記念講演

大会事務局 奥羽大学歯学部歯科保存学講座
 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 TEL 024-932-9365
 E-mail: 2023fukushima@jamd.sakura.ne.jp

運営事務局 株式会社アール・ケー・ピー 総社: 安香
 〒963-0551 福島県郡山市富田町字富田第22-599 TEL 024-963-0002
 E-mail: akpa@rkb-k.com
https://kanbikyokai.jp/congress/19th_fukushima/

Fig.1



Fig.2

1日目 開会式、基調講演、特別講演



Fig.3



Fig.4



Fig.5



Fig.6



Fig.7



Fig.8



Fig.9

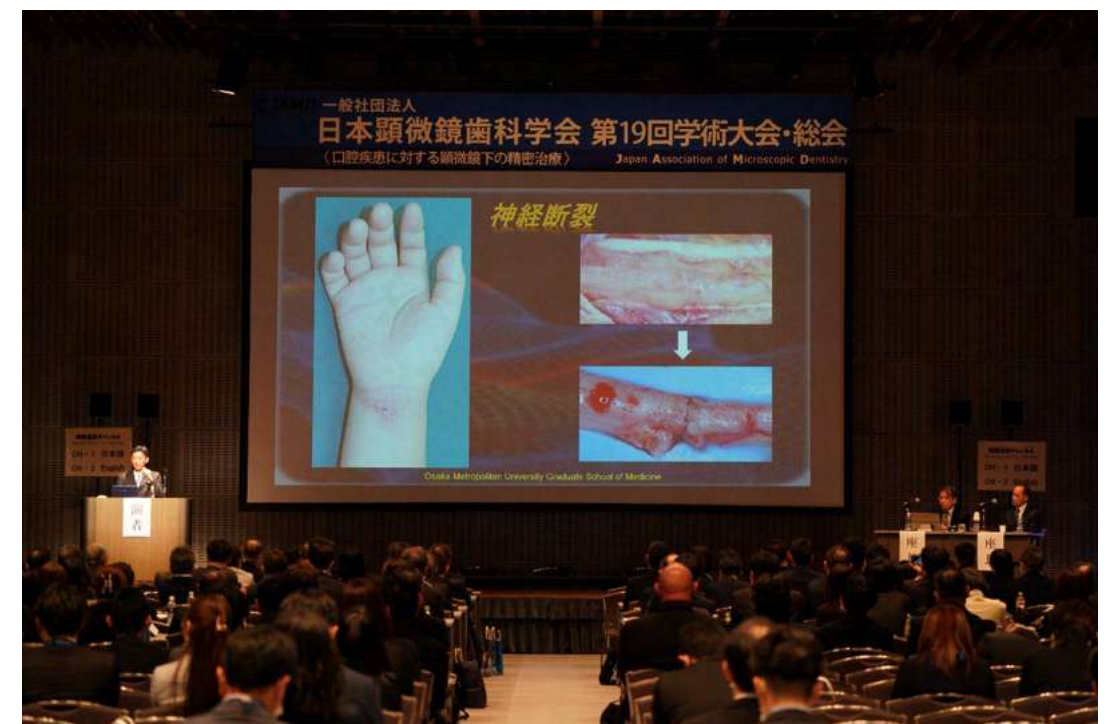


Fig.10



Fig.11



Fig.12

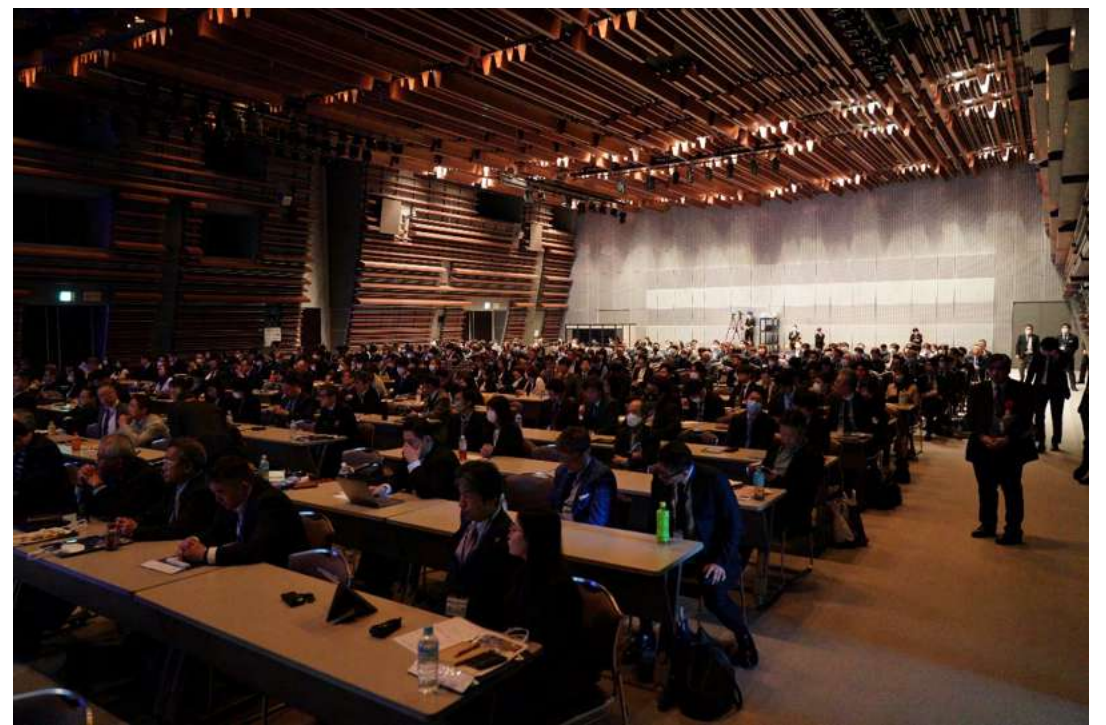


Fig.13



Fig.14



Fig.15



Fig.16

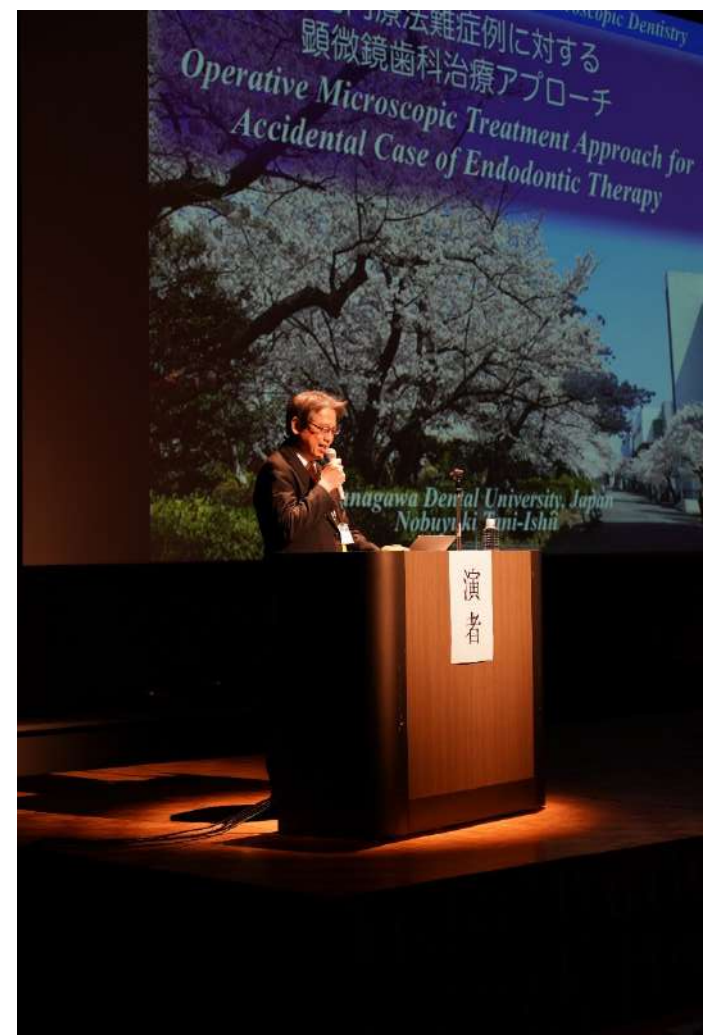


Fig.17

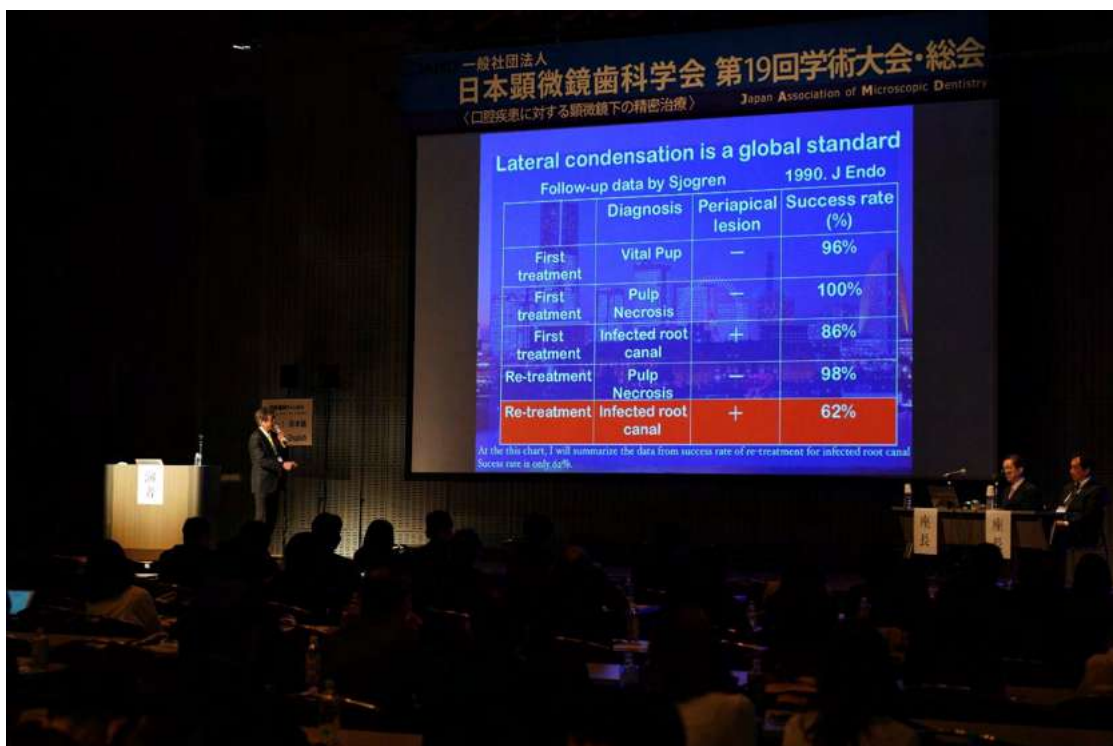


Fig.18

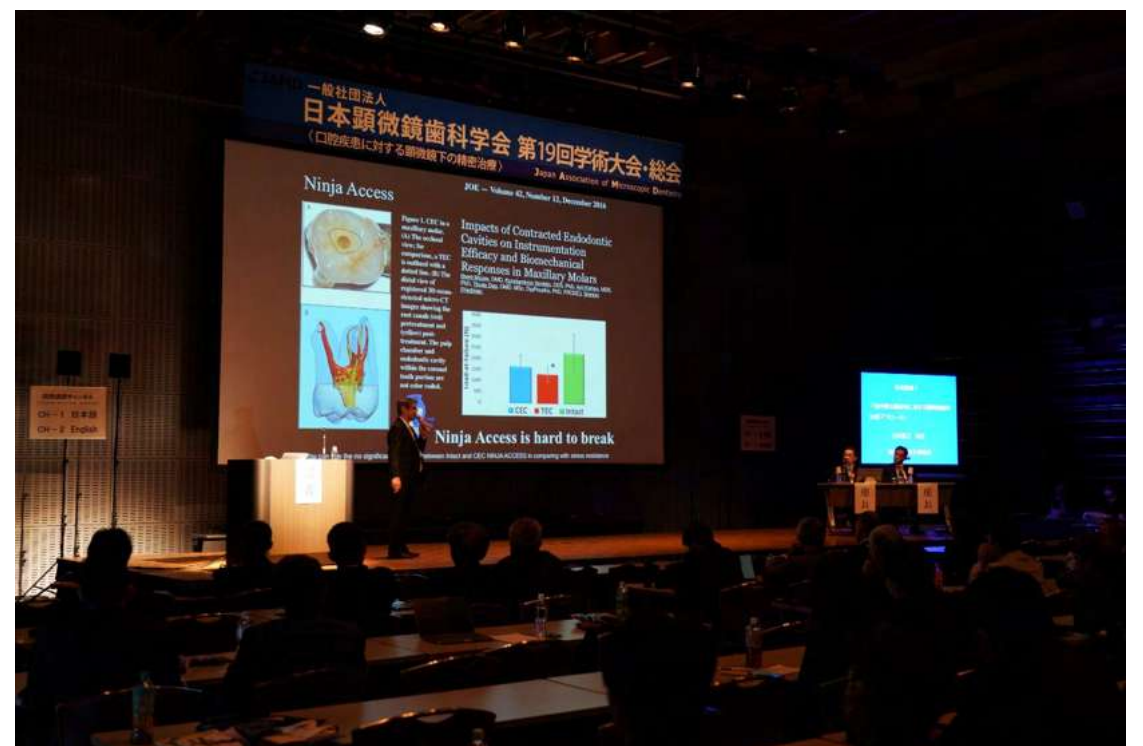


Fig.19



Fig.20

1日目 ランチョンセミナー



Fig.21



Fig.23



Fig.22

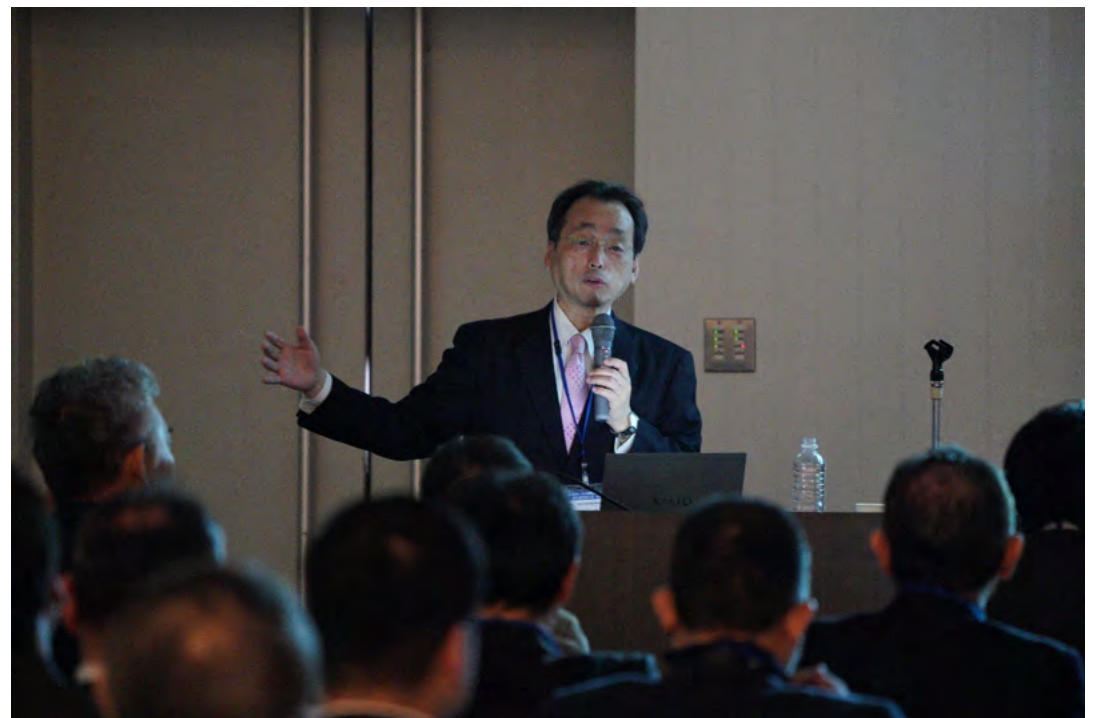


Fig.24



Fig.25



Fig.26



Fig.27

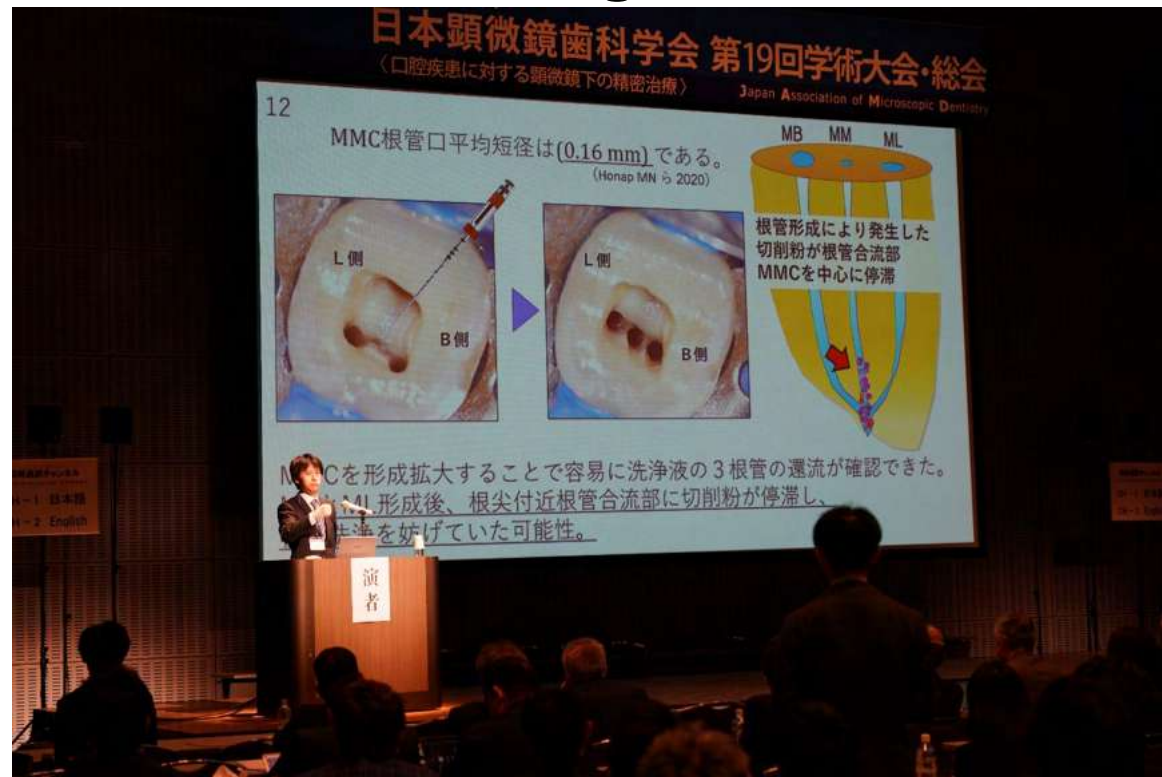


Fig.28



Fig.29



Fig.30



Fig.31



Fig.32



Fig.33



Fig.34



Fig.36



Fig.35



Fig.37



Fig.38



Fig.39

1日目 企業展示会場

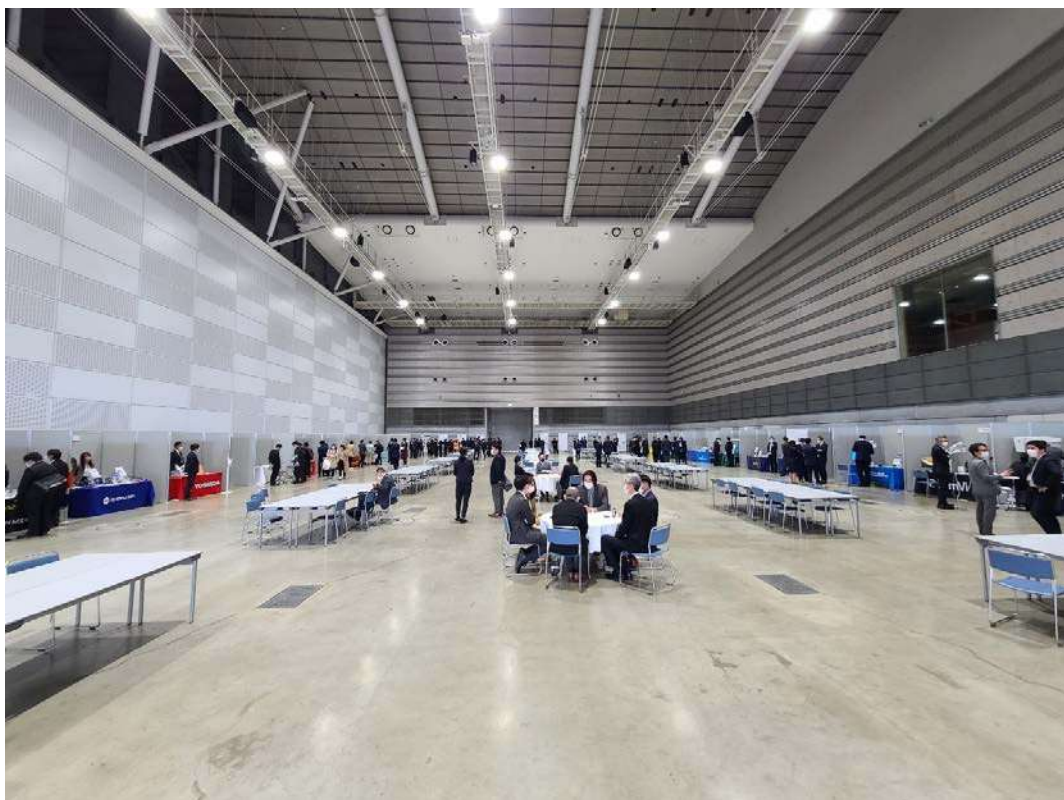


Fig.40

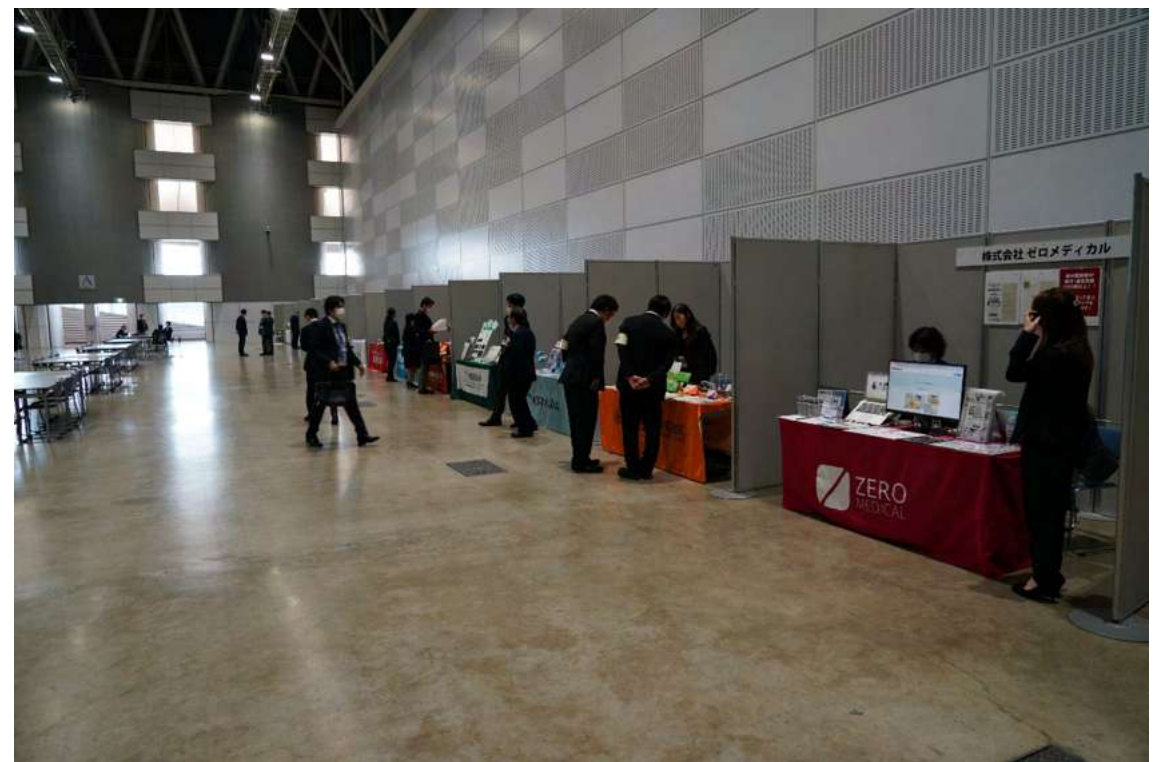


Fig.41



Fig.42



Fig.43



Fig.50



Fig.51



Fig.52



Fig.53



Fig.54



Fig.55



Fig.56



Fig.57

1日目 JAMD招待講演



Fig.58



Fig.59



Fig.60



Fig.61



Fig.62

1日目 ポスター討論



Fig.63

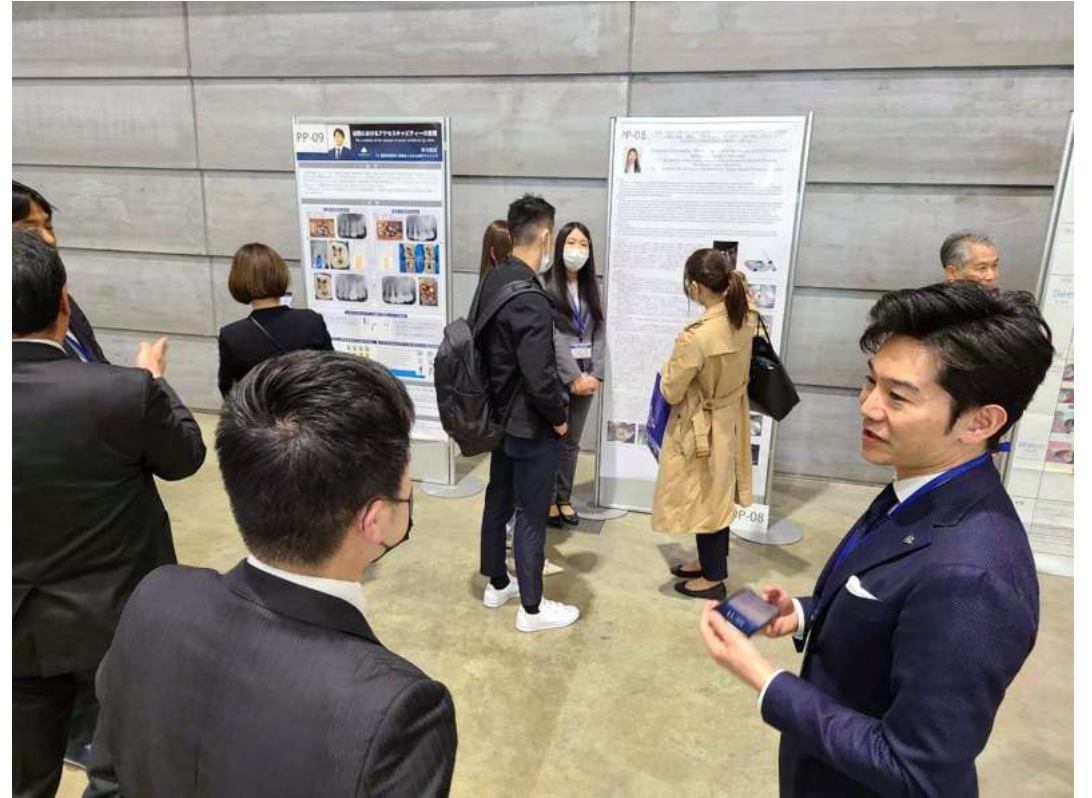


Fig.64



Fig.65

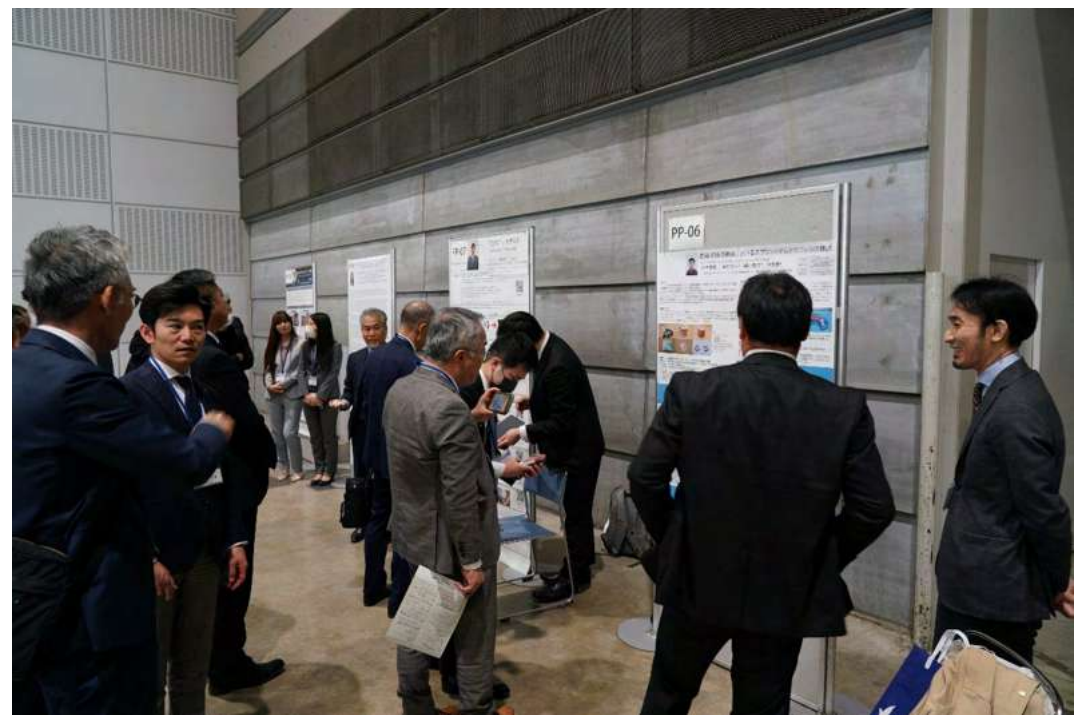


Fig.66

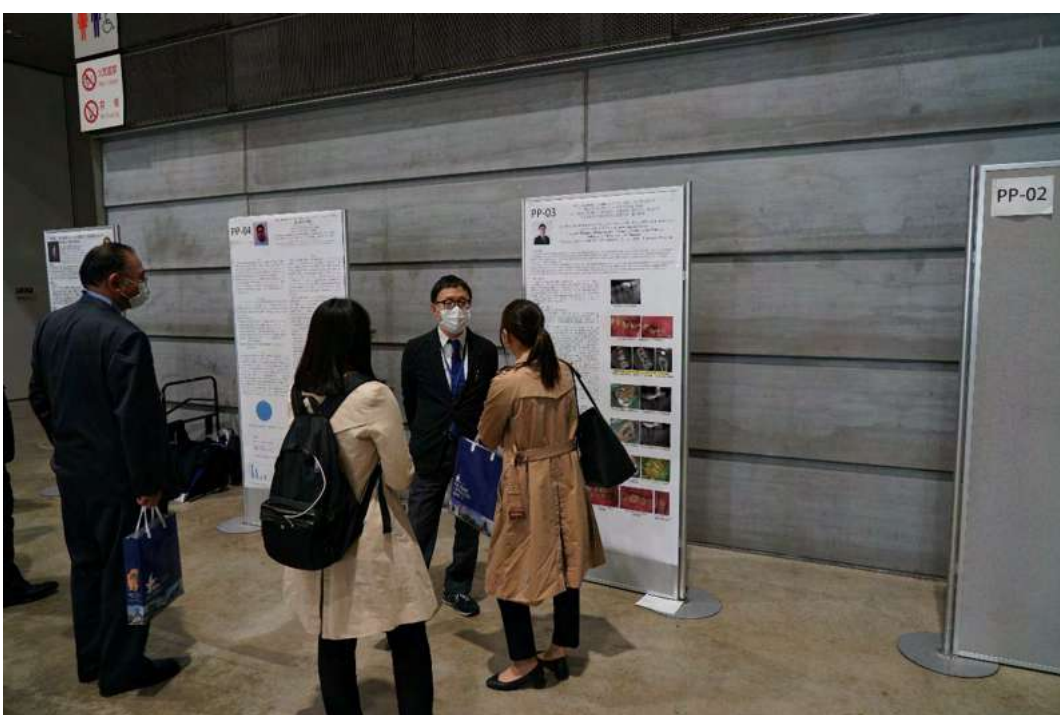


Fig.67



Fig.68

1日目 懇親会



Fig.69



Fig.70



Fig.71



Fig.72



Fig.73



Fig.74



Fig.75



Fig.76



Fig.77



Fig.78



Fig.79

2日目 大会長賞講演



Fig.81

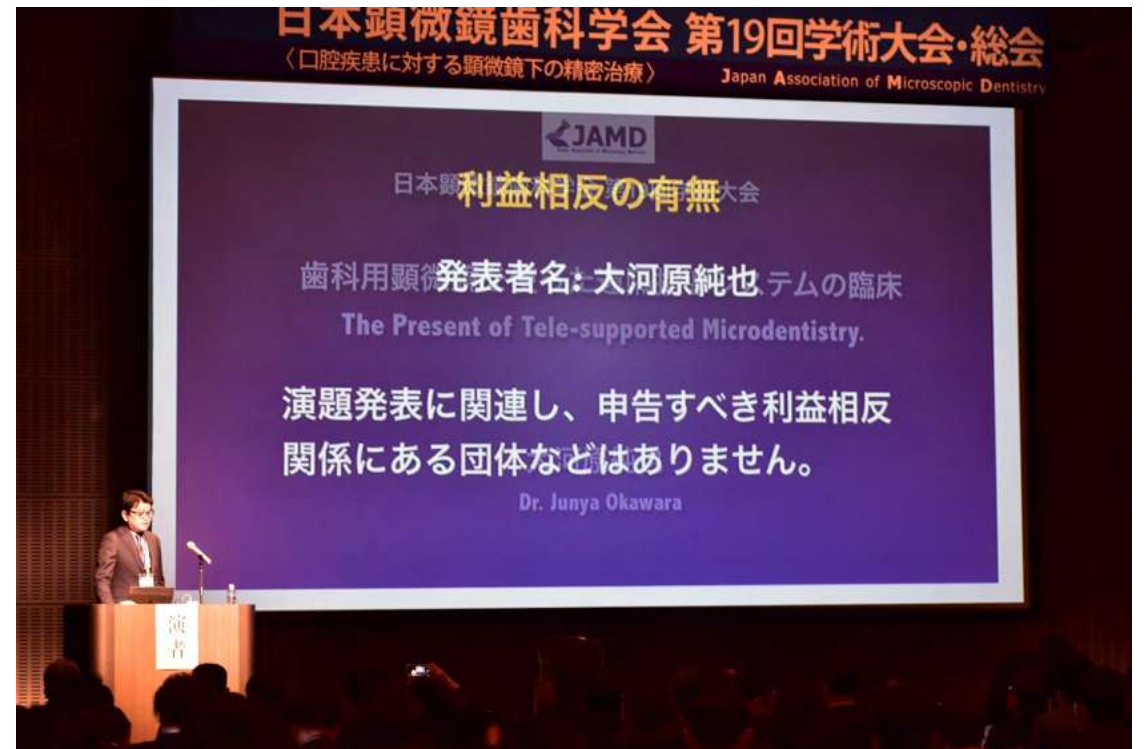


Fig.82



Fig.83



Fig.84



Fig.85



Fig.86

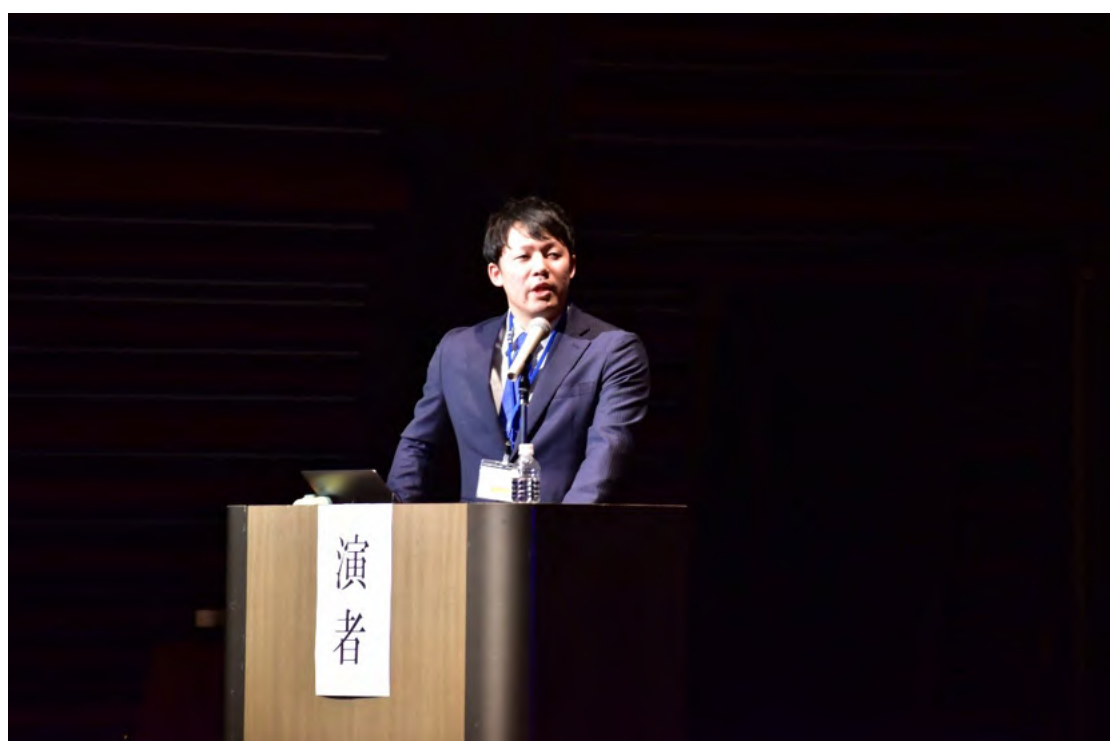


Fig.87



Fig.88



Fig.89



Fig.90



Fig.91



Fig.92

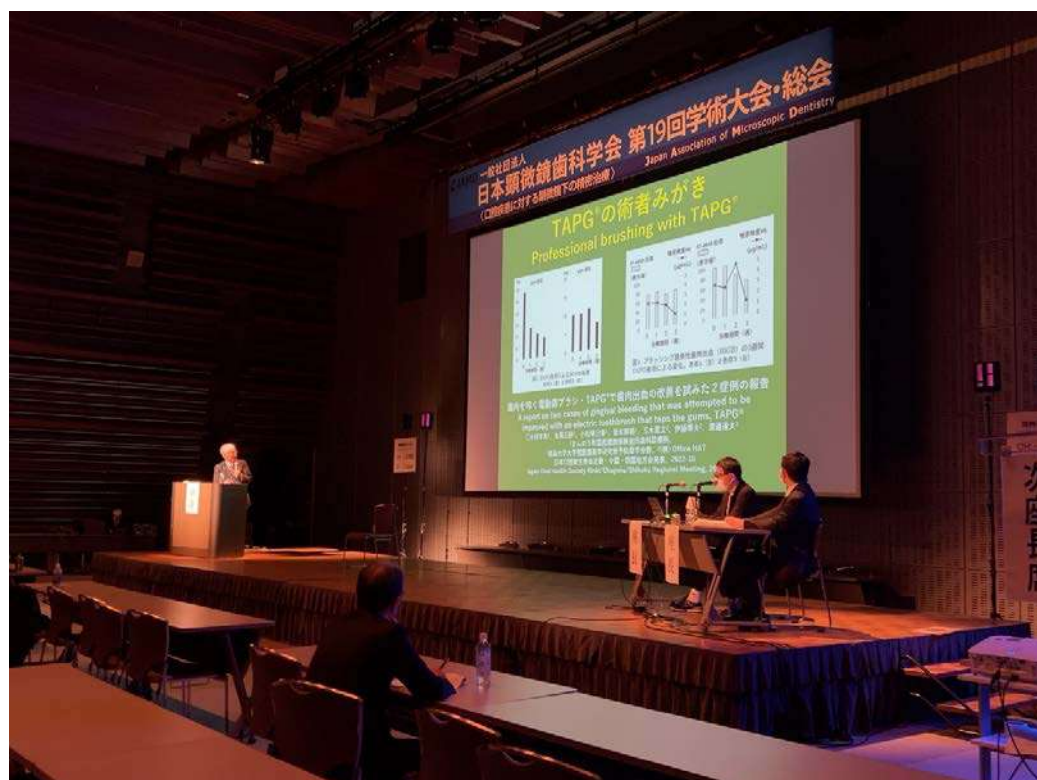


Fig.93



Fig.94



Fig.95



Fig.96

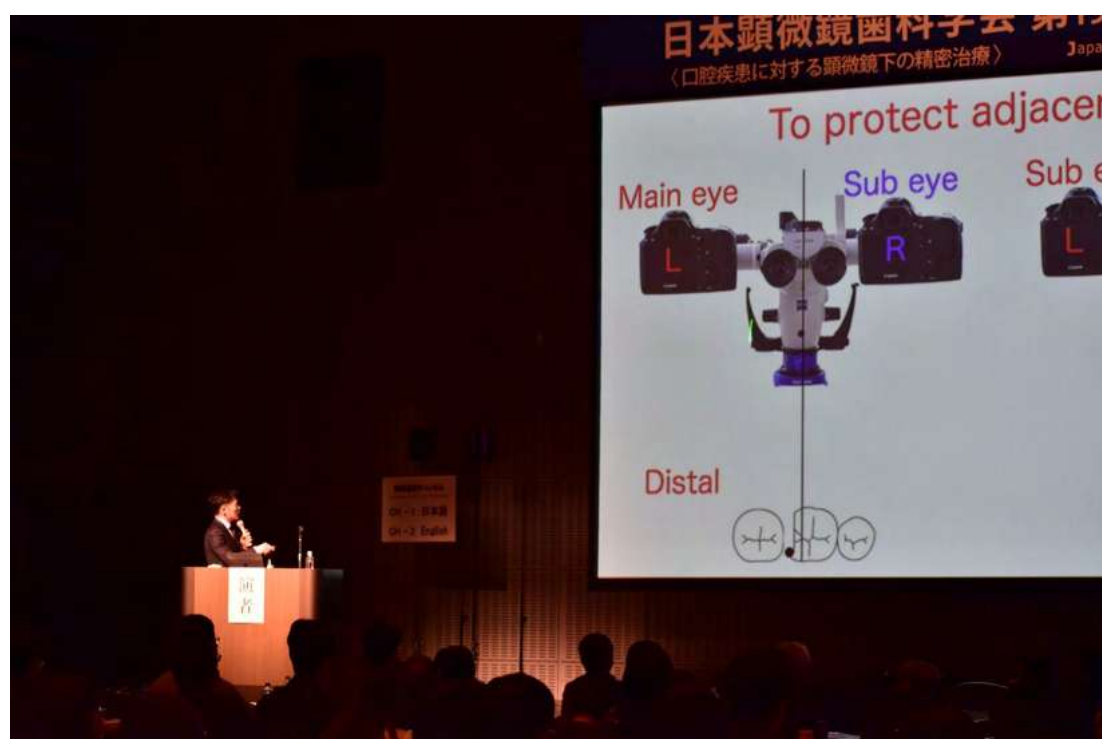


Fig.97



Fig.98

2日目 歯科衛生士シンポジウム



Fig.99



Fig.100



Fig.101



Fig.102



Fig.103



Fig.104



Fig.105



Fig.106



Fig.107



Fig.108



Fig.109



Fig.110



Fig.111



Fig.114

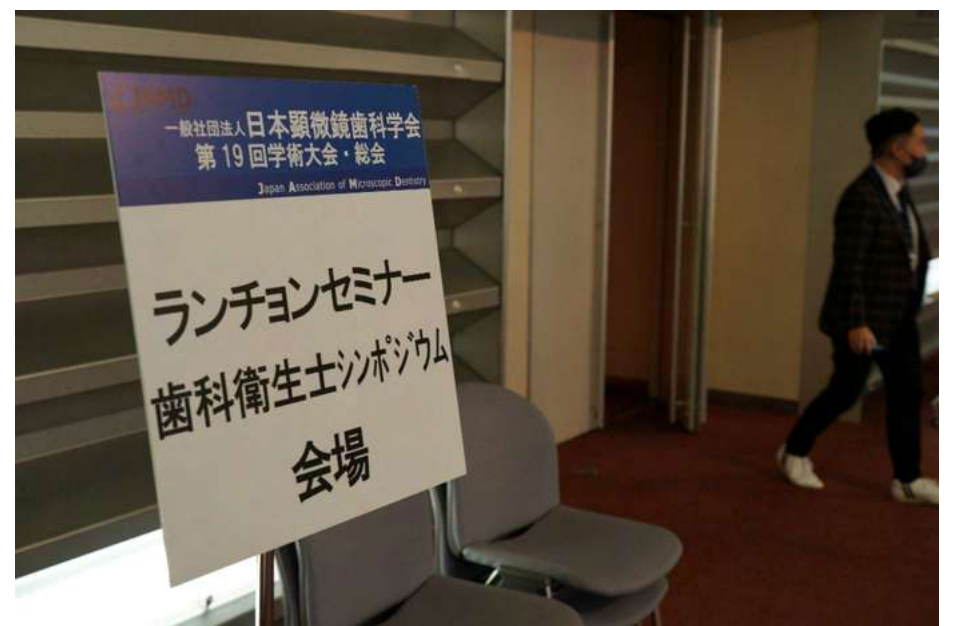


Fig.112



Fig.113



Fig.115

2日目 ブックフェア



Fig.116



Fig.117



Fig.118



Fig.119



Fig.120



Fig.121



Fig.122



Fig.123



Fig.124



Fig.125



Fig.126



Fig.127



Fig.128



Fig.129



Fig.130



Fig.131

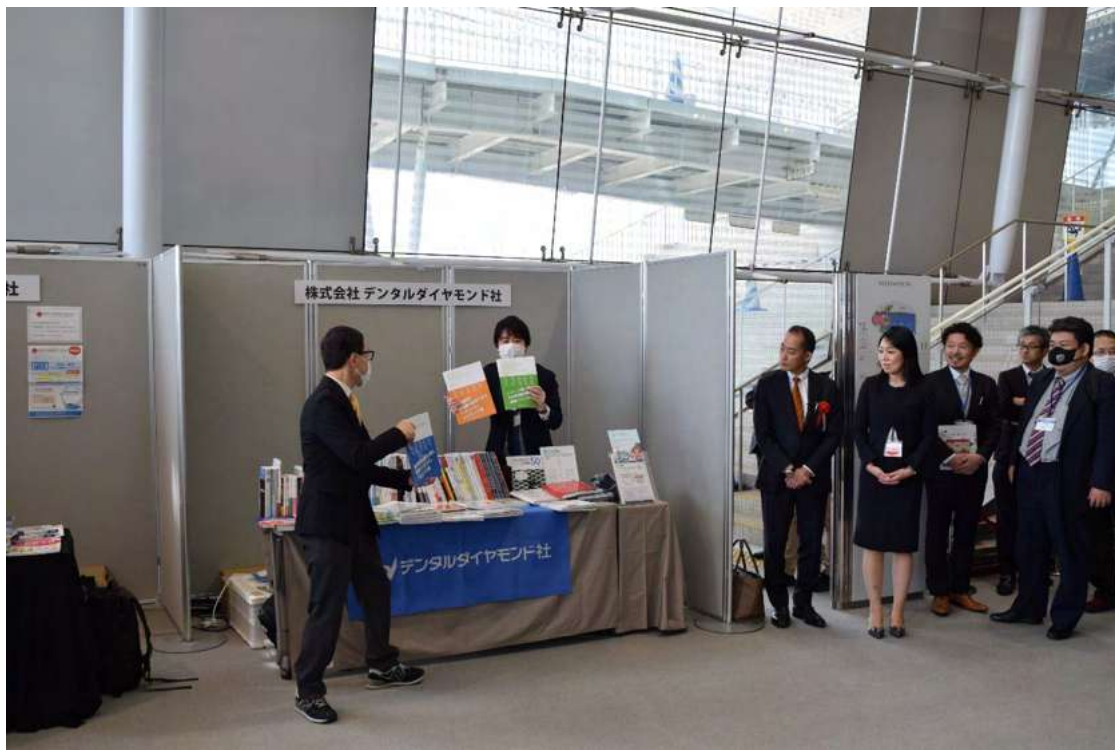


Fig.132

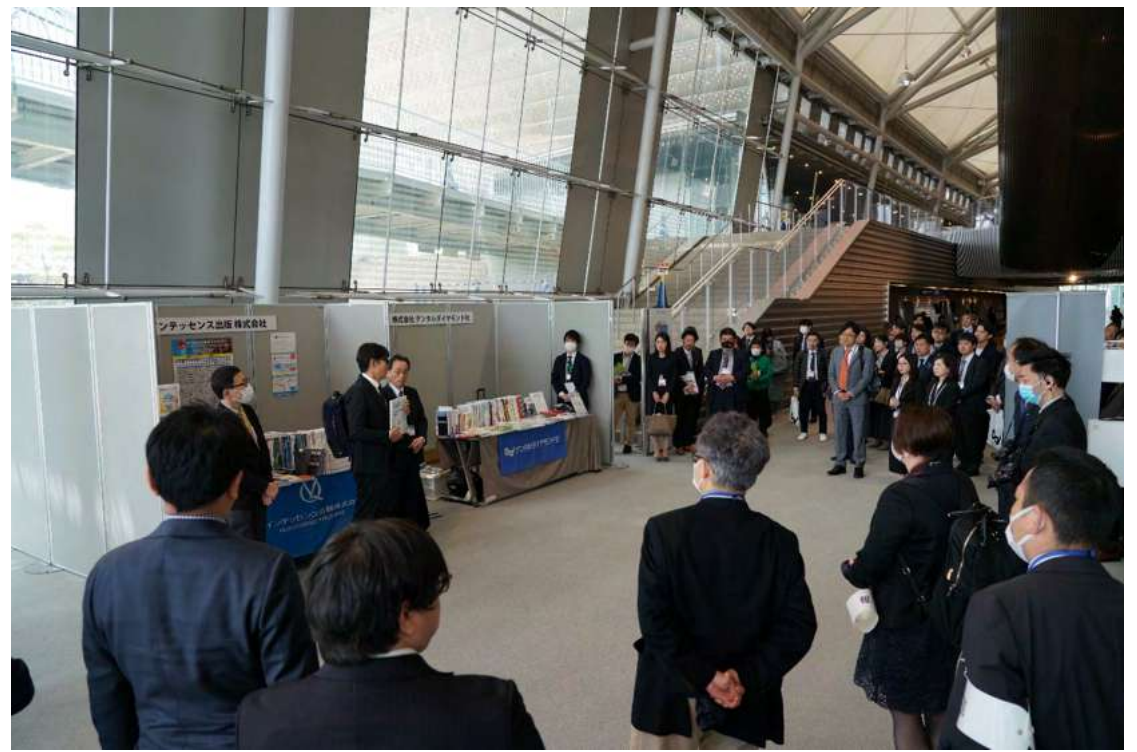


Fig.133



Fig.134



Fig.135



Fig.136



Fig.137

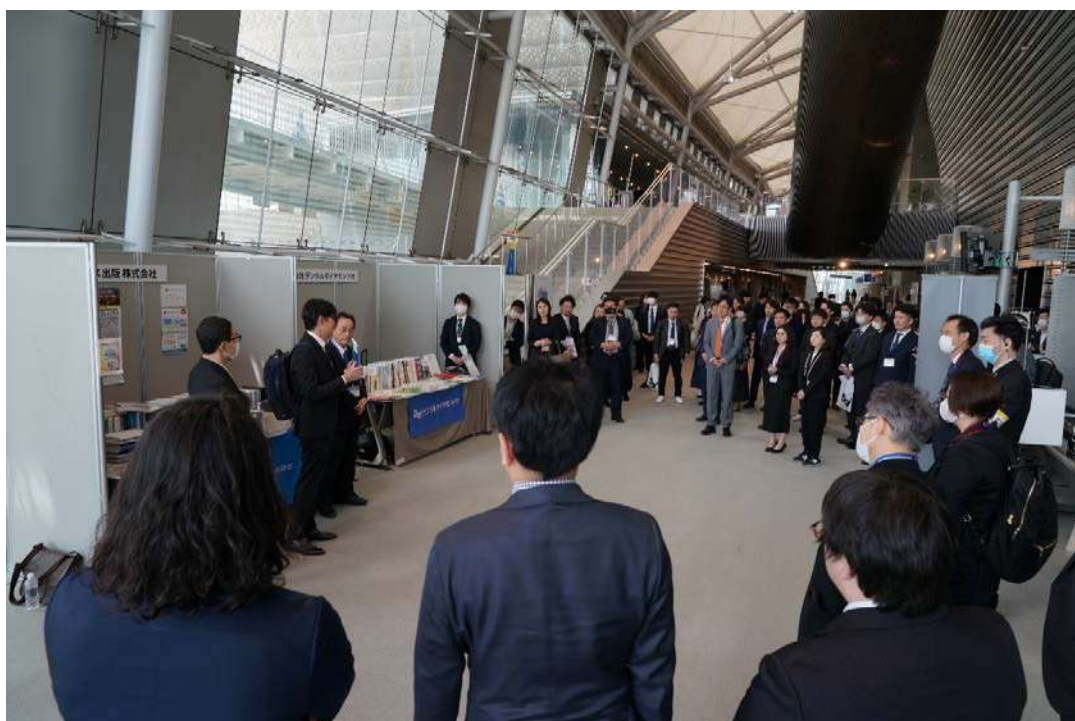


Fig.138



Fig.139



Fig.140



Fig.141



Fig.142



Fig.143



Fig.144



Fig.145



Fig.146



Fig.147



Fig.148



Fig.149



Fig.150



Fig.151



Fig.152



Fig.153



Fig.154



Fig.155



Fig.156



Fig.157



Fig.158



Fig.159

2日目 総会、表彰式、閉会



Fig.160



Fig.161

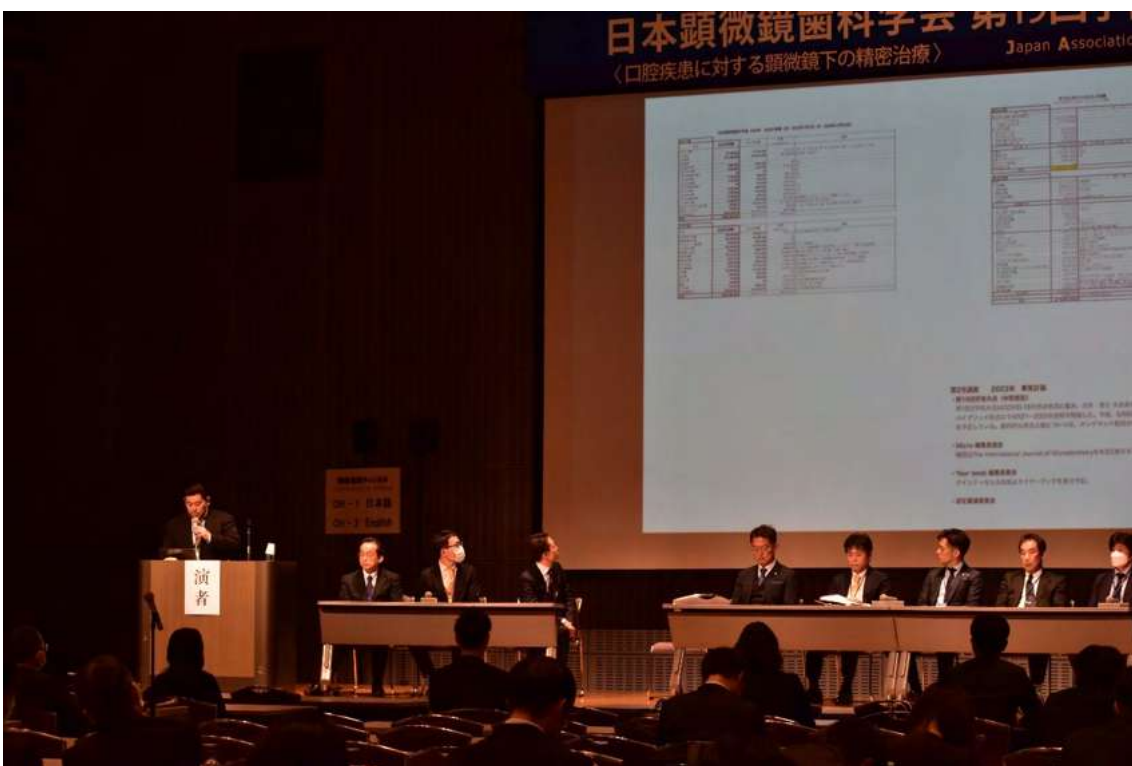


Fig.162



Fig.163



Fig.164



Fig.165



Fig.166



Fig.167

Report on the 19th Annual Meeting of the Japan Association of Microscopic Dentistry (JAMD)

“ -

Legend

- Fig 1 本大会のポスター。
- Fig 2 奥羽大学歯学部歯科保存学講座と実行委員会のメンバー。
- Fig 3 山田嘉重実行委員長の挨拶。
- Fig 4 三橋 晃学会長の挨拶。
- Fig 5, 6 高橋慶壮大会長の基調講演
- Fig 7 サーティフィケートの授与
- Fig 8 特別講演 1 の座長 高橋慶壮先生と馬場優先生
- Fig 9 登壇された岡田充弘先生
- Fig 10~13 発表の様子
- Fig 14 質疑応答
- Fig 15 サーティフィケートの授与
- Fig 16 教育講演 1 の座長 辻本恭久先生と小林 平先生
- Fig 17 登壇された石井信之先生
- Fig 18, 19 発表の様子
- Fig 20 サーティフィケートの授与
- Fig 21, 22 北村和夫先生によるセミナー
- Fig 23, 24 辻本恭久先生のセミナー

- Fig 25 一般口演 OP-1-3 の座長 武市 収先生
- Fig 26 遠藤広規先生
- Fig 27 木南意澄先生
- Fig 28 松田敦至先生
- Fig 29-31 質疑応答
- Fig 32 一般口演 OP-4-6 の座長 吉田 格先生
- Fig 33 内藤広太郎先生
- Fig 34, 35 市田佳子先生
- Fig 36, 37 郭 博仁先生
- Fig 38 質疑応答
- Fig 39 サーティフィケートの授与
- Fig 40~43 企業展示会場
- Fig 44~49 一階の受付周辺

Fig 50 シンポジウム1の座長 山田嘉重先生および三橋 晃先生
Fig 51 小原俊彦先生
Fig 52 鈴川雅彦先生
Fig 53 河合竜志先生
Fig 54 質疑応答に臨む演者の先生方
Fig 55, 56 シンポジウム後の総合討論
Fig 57 サーティフィケートの授与
Fig 58 JAMD 招待演者口演の座長 三橋 純 先生
Fig 59~61 発表の様子
Fig 62 サーティフィケートの授与
Fig 63~68 ポスター討論
Fig 69~80 懇親会
Fig 71 大会長の挨拶
Fig 72 学会長による乾杯の御発声
Fig 73 司会を務めた杉 祐紀 先生
Fig 79 地元のフラダンス同好会の皆様

Fig 81 第18回大会の大会長受賞記念講演の座長 小林 平先生
Fig 82, 83 講演の様子
Fig 84 サーティフィケートの授与
Fig 85 一般口演 OP-7-9 の座長 澤田則宏先生
Fig 86 棕由理子先生
Fig 87 吉成宏陽先生
Fig 88 李 麗先生
Fig 89 李 麗先生と通訳の先生
Fig 90 サーティフィケートの授与
Fig 91 特別講演2の座長 北村和夫と木村裕一先生
Fig 92 登壇した渡邊達夫先生
Fig 93 講演の様子
Fig 94 サーティフィケートの授与
Fig 95 教育講演2の座長 辻本恭久先生と小林 平 先生
Fig 96 登壇した菅原佳広先生
Fig 97 講演の様子
Fig 98 サーティフィケートの授与

Fig 99 歯科衛生士シンポジウム座長の櫻井善明先生と林 智恵子先生

Fig 100 溝部潤子先生

Fig 101 森田佳子先生

Fig 102 清水直美先生

Fig 103, 104 シンポジウムの参加者

Fig 105, 106 質疑応答を行う演者の先生方

Fig 107-109 シンポジウム後の総合討論の様子

Fig 110 サーティフィケートの授与

Fig 111-115 三橋 純先生のランチョンセミナー

Fig 116~138 ブックフェア

Fig 139 シンポジウム2の座長は鈴木真名先生と三橋 純先生

Fig 140 登壇した長尾大輔先生

Fig 141 口演の様子

Fig 142 登壇した中田光太郎先生

Fig 143 口演の様子

Fig 144 質疑応答

Fig 145 シンポジウム後の総合討論の様子

Fig 146 サーティフィケートの授与

Fig 147 一般口演 OP10-12 の座長 寺内吉継先生

Fig 148, 149 井出 葵先生

Fig 150, 151 質疑応答

Fig 152, 153 藤野拓郎先生質疑応答

Fig 154

Fig 155, 156 宇土武典先生

Fig 157~159 サーティフィケートの授与

Fig 160~163 総会

Fig 164 次期大会長の寺内吉継先生の挨拶

Fig 165 大会長の高橋慶壮先生の挨拶

Fig 166 大会長賞の授与

Fig 167 ポスター発表優秀賞の授与